



一流の芸術に触れる感動体験

10月25日（金）午後、体育館で全校生が劇団ショーマンシップによる「ノートルダム物語」の劇を観ました。生徒みなさんの感想から興奮と感動が伝わってきます。その日の部活を終えた先生方が職員室に戻り、しきりと劇の話をし、先生方も心打たれていました。

本物に触れること、間近で肌で感じること、上質で濃厚な体験はきっとみなさんの心の栄養となり、豊かなものへとしてくれたはずです。以下に生徒の感想の一部を紹介します。



〇すごい。本当に感服致しました。ここまでとは思わなかったです。この2時間という中、役になりきってここまで我々を一瞬で世界に引きずり込んだ。このことに驚きです。特にはじめの方、「なんかエスメラルダの目線変じゃね?」と思っていたんですが、後に目が見えないという真実が分かって目を丸くしました。「ここまでやりますか!」と思いました。将官ジェハンの演技が一番好きです。登場しただけで緊張感が張り巡らされた声と動き、カジモドとのかけ合いも2人の関係がはっきりと表されていて、登場した数秒で「コイツやべえ」ってなりました。主人公はもちろん、悪役にも魅力を感じました。脇役の人も個性豊かだにっこにこの笑顔を見せ、涙を流す。本当に想像をこえて素晴らしかったです。あと歌がうますぎる。「アル」が好きすぎる。（3年男子）

〇体育館全域に響く圧倒的な歌声で、みんなを魅了していました。心の底から言の葉を紡いで放つ声は場に暖かみを、時には面白さを、そして時には緊張を届けました。特に印象に残った場面は2つあります。1つ目は戦闘シーンです。面白おかしくコミカルに戦っていてみんなとても笑っていました。2つ目は、詫間中生が劇に参加したことです。より一層みんなの注目が集まり、物語に入り込んでいったと思います。劇を通して成長していくカジモドの姿、次々と明かされていく衝撃の事実、物語にずっと引き込まれっぱなしでした。（3年男子）

〇すごく楽しみでワクワクしていました。劇の途中、ワークショップで TENSHO 先生に教わったパントマイムが出てきました。やはり、私たちとは全然違ってすごく上手でした。どの役の人も遠くまで響く歌声がとてもキレイで、もっと聴いていたいと思いました。詫間中生が大道芸を頑張っている姿がカッコいいと思ったし、勇気がすごいと思いました。教室に帰るとき、役者さんたちとハイタッチできたのが嬉しかったです。（1年女子）

〇僕が特にびっくりした（印象に残った）ことはアルセーヌが女性だったことです。アルセーヌの言動や動き方、声などすべてが男性のように演じていたので、「プロの役者は違うなあ」と思いました。そして、パントマイムや息の合ったダンスが情熱的でとても素晴らしいと思いました。初めて見る演劇は感動を与えてくれる作品でした。（2年男子）

〇私は劇を見るのが初めてです。初めて見る劇が「ノートルダム物語」で良かったです。セリフの量やどんなふう動くかなどたくさん練習したと思うけれど、最大限に発揮して素晴らしかった





し、勉強になりました。福岡から来てくださり、本当にありがとうございます。すごい迫力と表情が素晴らしかったです。好きな場面は全部と言いたいけれど、2人が兄妹だったことが分かった場面です。兄妹愛がすごく伝わってきました。いろんな場面で感動し、私の心に響きました。見るだけでなく、みんなで歌ったり、手拍子したり楽しかったです。最後はお見送りでのハイタッチまでしてくださり、最高の2時間でした。（2年女子）

○最初のシーンから一気に引き込まれました。普段見慣れている小さな体育館の狭いスペースでこんなにもスケールの大きなことができるんだと感じました。演出や音楽、衣装などすべてに手が込んでおり「すごいなあ」と終始夢心地でした。今、終演から20分ほど経っていますが、まだアドレナリンがたまります。先月から給食の時に曲を聴いてきて、歌や歌詞は頭に入っているつもりだったけれどやっぱり生で見ると全然違うと感じました。最前列だったので、声や表情をほかの人よりもより近くで肌で感じることができました。フランスのお話でノートルダム大聖堂やロマなど普段聞かない言葉だし、今の私たちには想像できないような話だったけれど、それぞれの人物に感情移入することができました。原作を読んだことがないので読んでみて比べてみると面白いと思いました。テレビのドラマや映画もいいけれど、こうして演技を生で見ることも貴重で、言葉が出ないくらいすごかったです。何より役者さんが笑顔で踊っていたり、大口を開けて叫んでいたりと照明や音楽や舞台美術などのすごさを感じられ、感動しました。（3年女子）

○席が遠かったけれど、大きな振り付けで怒っているところや喜んでいるところ、悲しんでいるところがよく分かりました。一番印象に残ったのは「アル」です。いつも元気でふざけているところもあるけど、そのおかげでカジモドは明るくなれたんだと思いました。（3年女子）

○戦うシーンがとても迫力があり、びっくりしました。剣がすれる音もこける演技もリアルでした。劇を見て、演技することの楽しさや、面白さ、美しさを知ることができました。演劇にとっても興味をもちました。（1年女子）

○今までいろんなところにミュージカルを観に行きました。毎回思うことは、歌がすごいというところです。特にアルは低い声から高い声まで素晴らしかったです。ダンスも自分が主となる場面では一番目立ってやるという気持ちで一人一人が大きな動きでダンスできていました。大道芸もすごく長い練習を積み重ねてきたんだなと思いました。エスメラルダは最初、目が見えないことことに気づかなかったけれど、今思うと、階段を降りるとき下を見ずに降りていたので、細かいところまで工夫していることに感心しました。ミュージカルや演劇が大好きなので、これから実際に出演してみたいし、もっといろんな劇を観たいです。（3年女子）

○あまり興味がなかったけど、今回で好きになりました。印象に残ったシーンは2つあります。1つ目はカジモドが成長していくところです。エスメラルダに出会い、変わっていくカジモドがかっこいいと感じました。もう一つはアルセーヌの素性が分かったところです。アルはいつも明るくてカジを勇気づけたり、場を和ませたりして私のお気に入りのキャラクターです。そんなアルも悩みを抱えながらカジと関わっていたと知り、誰にでも過去はあるのだと実感しました。アルは難しい役どころだと思いました。ミュージカルなので、楽しんで見ることができました。原作を読みたいと思います。思っていた何倍も面白く、楽しい時間でした。趣味としてこれからも見てみたいです。将来、ノートルダム大聖堂にも行ってみたいです。（3年女子）

